

教員名	教員所属	科目名	アンケートに対するコメント
工藤由美	現代社会学科	福祉・医療人類学	本科目のアンケート結果は、受講者数が少なかったこともあり、毎回一人一人が熱心かつリラックスした雰囲気です。授業に臨んでいたようで、評価全体の平均値にも反映されていると思います。一方、最も評価の低かった設問6の「授業に関する予習や復習」は、特定のテキストは使用していませんでした。そのため、学生自身が毎回の配布資料に基づいた学習を想定して評価したのではないかと推察しています。本科目は、現実的な福祉や医療の出来事に対して、どのように人類学の知見が役に立つのかといった実践的な思考トレーニングも重要視していました。授業中のディスカッションや授業毎に提出してもらったリフレクション・ペーパーでは、学生自らが様々なニュース等を取り上げて意見を述べており、それに対して次回の授業のはじめにコメントを行ったことにより、理解の深化がみられていました。「授業以外の時間も、本科目に関連した出来事や物事に関心を向けている」という点も、自己評価に反映されればよいと思いました。
山本隆一郎	人間心理学科	カウンセリング演習	本科目は、選択科目かつ少人数かつ演習形式の授業であり、そもそも評価が上がりやすい性質の科目である。このようなセレクトティブな受講生であったことから出席率・熱意とも高く全体的な評価の平均値は4.9点であった。なお、演習科目であったため予習復習は少なかったが、シラバスの確認は4.4点と他科目と比較してとても高かった。こうしたことから主体的な受講生が多かったと考えられる。カリキュラムの再編に伴い2018年度より、本科目は担当しなくなるが、この経験を活かし、今後の他の演習授業においても「演習科目」として、アクティブラーニングを意識したその場でしか生じない体験を重視した授業運営を心掛けたいと考えている。
山本隆一郎	人間心理学科	人間心理学基礎	この科目は、1年生の必修科目であり、「江戸川大学の学生として」「人間心理学科の学生として」の学びの基礎を少人数制のゼミ形式で行う授業である。全体の平均値は4.8点と非常に高い評価を頂いた。しかしながら、この類の少人数制の授業には多く認められることであるが、学生同士の相互作用やインフォーマルな場での交流の良さという点が大きく評価に関係している。授業評価の項目内容の性質もあるが、「楽しかった」ではなく、「この授業の前後で何が変わったか」を意識してほしい。もちろん後者を支えるため、授業へのコミットメントを維持するために楽しさは重要であろう。基礎ゼミ生の皆さんは、この授業を通じて、大学という場の学びの基礎として何が身についたかを省察してください。
山本隆一郎	人間心理学科	専門ゼミナールⅠ	本授業は専門ゼミナールであり、受講生も担当教員の専門性やゼミ運営の方針についてよく知ったうえで受講していることになる。そのため概して、授業評価は高いものであった。また、自由記述の中でも、ゼミを通じるなかで「主体性」を学ぶことができたこと、ゼミ運営の意図が伝わり、また奏功したことが伝わったことは嬉しいことである。今後も主体的に取り組みたい環境づくり関係づくりをしていきたいと思う。
山本隆一郎	人間心理学科	臨床心理学	必修科目であったためか、シラバスの確認などは点数が低かった。一方で授業運営としてはこれまで同様の評価を拝受した。昨年度同様に平均より高い値であったため、2年生必修通年科目であることを考慮すると比較的肯定的な評価を頂いたと考えられる。昨年度の指摘のあった資料アップロードの迅速化については今年度は意見がなかったため、改善をすることができたと考えられる。また、授業の分かりやすさと熱意について高く評価していただいた。個人的には努力に目を向けてもらい気づいていただいたことは嬉しい。しかしながら、教員はエンターテイナーではない。教育者であり研究者である。そして大学の授業において大事なことは、「楽しくて」「わかりやすかった」授業を受けて、何が変わったかという学習者の変化である。どう自分に資する授業であったかということ省察していただくことを期待する
杉山敏啓	経営社会学科	金融ビジネス基礎Ⅱ／金融基礎Ⅱ	この科目は金融分野の初学者を主たる対象に、金融機関・金融商品の利用者サイドの見地から講義形式で学習する科目です。学生の自由記述では「勉強になった」「とても分かりやすかった」など良好なコメントを頂いたが、専門用語をかみ砕いて例示を加えながら説明するなど、理解度を向上させる余地はまだあるものと認識し、継続的な改善に努めてゆきたいと考えた。

杉山敏啓	経営社会学科	経営社会演習	この科目は金融ゼミ専攻者を対象に、ファイナンシャル・プランニング技能士等のパーソナル・ファイナンスについて、輪読等のゼミ方式で学習するものです。評点平均レーダーチャートは全項目について全学平均を上回る評価を受けました。ただし予習・復習の評点は低く、今後の課題と認識し、学習インセンティブを高める工夫をしてゆきたいと考えました。
杉山敏啓	経営社会学科	経営社会実習	この科目は金融ゼミ専攻者を対象に、ファイナンシャル・プランニング技能士等のパーソナル・ファイナンスについて、輪読等のゼミ方式で学習するものです。また実習として金融機関見学を取り入れ、東京証券取引所、日本銀行本店、SMBC日興証券支店見学を行いました。評点平均レーダーチャートは全項目について全学平均を上回る評価を受けました。ただし予習・復習の評点は低く、今後の課題と認識し、学習インセンティブを高める工夫をしてゆきたいと考えました。
杉山敏啓	経営社会学科	専門ゼミナール	この科目は金融ゼミ専攻者を対象に、金融システムの基礎と金融機関経営の見方について、輪読等のゼミ方式で学習するものです。評点平均レーダーチャートは全項目について全学平均を概ね上回る評価を受けました。ただし予習・復習の評点は低く、今後の課題と認識し、学習インセンティブを高める工夫をしてゆきたいと考えました。
川村幸夫	基礎・教養教育センター	英語Ⅲ	受講生のレベルや学習目的に合わせた授業展開ができたと思います。アンケート結果も十分満足のいくものでした。「成績の評価基準」に関しては、もう少しいいに説明しておくべきだったと思っています。
川村幸夫	基礎・教養教育センター	英語プレゼンテーション演習Ⅲ	予想以上により結果でうれしい驚きを感じています。受講生にとっても教員にとってもほぼ理想的な授業展開ができたと思っています。
馬場一晴	基礎・教養教育センター	情報リテラシー応用	この科目は、留学生を対象にした情報リテラシーの科目の応用編です。前期の情報リテラシーでは主に文書作成ソフトウェア(Word)及びプレゼンテーションソフトウェア(PowerPoint)の活用法を学びましたが、後期は特に表計算ソフトウェア(Excel)の使い方に重点をおいて講義と演習を行いました。必修科目ということもあり、出席率は良く、授業評価も比較的良好(4.1)でした。「面白い授業です」、「色々な知識を勉強した」という肯定的な意見を頂きました。今後は、授業内容をより良く改善して、履修者の方々にとって、コンピュータやネットワークを活用するための基本的能力(コンピューターリテラシー)と情報活用学力(Word、Excel、PowerPoint)を高めることに資するような授業を提供できるように研鑽を積んで参ります。
福田 一彦	人間心理学科	教育心理学	自由記述欄に書かれていたのは「特になし」「多くの受講者は教職過程(ママ)を受講している学生だと思うため、教育的な視点から心理学の授業をして頂きたい」「後期間ありがとうございました」という内容でした。教育心理学で行った内容は「神経系」「遺伝と環境」「発達課題と不登校」「学習と記憶」「精神障害」などでした。「教育的な視点からの心理学」でないとは思えません。もしかすると「生徒のやる気を引き出す方法」や「効率的な教授法」のようなHow toものを期待したのかもかもしれませんが、ここは大学です。大学で行われる授業とは、学生の知的好奇心を刺激して自らの頭で考えるような授業であるべきです。もし、教育がHow toで出来ると考えているとしたら、猛省するか、教職に就くこと自体を諦めてもらうのが良いと思います。また、「教育的な視点から心理学の授業を」と書いた方の授業への取り組みの自己評価は、「受講態度:1」「出席率:40%以上」「積極的にノートをとる:1」「予習復習:1」「自分の取り組みから考えて授業を評価する資格がある:1」という状態でした。受講態度が最低で出席も半分もしていない状況では、授業内容を云々する前に自分の受講態度を反省する必要があると言わざるを得ません。

<p>福田 一彦</p>	<p>人間心理学科</p>	<p>心理学概論</p>	<p>自由記述には、「難しい。」「特にありません」「先生の話し方が聴きやすく配布される資料の内容もわかり易かった。」「楽しく学びやすい環境で学ぶことが出来る」「授業は難しいかもしれないが、すごくわかりやすい。」「心理学概論の授業を履修して、心理学のことをより深く知ることが出来たので良かったです。」「心理学の歴史や研究法について学べたように感じます。」「よかつまた(ママ)」「ねむい」とてもわかりやすいです。」「トイレ行くとき先生に言えばいいのか勝手に行っていいのかはっきりして欲しい」「さまざま、知らないことを学ぶことができた。」という記述がありました。かなり高評価で、やらせではないかと思えるほどです。でも、高く評価していただけるのは、教員としてもうれしいです。一つだけ、「トイレ」の件での要請ですが、授業中に無断での出入りはしないように、注意しています。また、トイレならば良いと判断して出入りする人もいますが、トイレは基本的に授業の合間(この授業は一時間目なので、授業が始まる前)に済ませておくべきであるという話もしています。しかしながら、緊急の場合や、もともと調子が悪く、トイレなどに行かなくてはならない場合はその限りではないとも伝えてあります。ただ、このような注意をちゃんと聞いている学生ではなく、遅刻して入ってくる学生や欠席の多い学生は注意自体を聞いていない可能性があり、最初の授業での上記の注意に従わず教室をフラフラと出入りする学生も少数居るのも事実です。なるべくちゃんとした学習環境が保てるように努力しているつもりですが、なかなか完全には行きません。トイレに関しては、トイレも含めて、授業中には基本的には出入りしないことと、それでも行かなくてはいけないときにはその限りでない、という程度のルールとしたいと</p>
<p>吉田 一康</p>	<p>経営社会学科</p>	<p>企業と法Ⅱ</p>	<p>授業評価のアンケートにお答えいただきましてどうもありがとうございます。設問9「授業内容はわかりやすいものだった」及び設問13「板書や機器を使った表示は見やすかった」が4.1と低かったことから、法律の専門用語について、もっと分かり易い説明を心掛けて、理解を深める工夫が必要だと思いました。設問6「この授業に関して、予習や復習などの事前準備や復習はどの程度時間をかけましたか」の評価が2.3だった点については、これまでの評価と同様で、講義内で、次週のテーマの紹介や課題などを与えて、予習や復習を習慣づけなければならないと考えました。学生の受講態度については、朝1限ということもあり、遅刻者がややみられましたが、通常、講義中は、驚くほど静かで真面目なもので、感心するとともに感謝しております。</p>